

本稿は、9月6日時点で利用可能であった
情報をもとに記述されている。

2011年9月7日
日本銀行水戸事務所

茨城県金融経済概況(2011年8月)

1. 概 要

県内景気は、個人消費の一部に弱めの動きがみられるものの、輸出が回復傾向を持続し、生産も多くの業種で震災前の水準に戻るなど、全体としては持ち直しの動きが続いている。先行きについても緩やかな回復経路に復していくことが期待されるが、当面は海外経済や為替相場の動向など下振れリスクに留意する必要がある。

最終需要をみると、輸出は、好調な海外需要を背景に多くの品目がほぼ震災前の水準まで回復している。個人消費は、乗用車や家電の販売が好調であった前年を下回るなど弱めの動きもみられたが、大型小売店の売り上げは引き続き前年を上回った。また、住宅エコポイント適用期限到来を控えた住宅着工の動きもみられた。

こうした中で、多くの業種が震災前の生産水準を回復し、ほぼフル生産となっている。

雇用・所得環境は、有効求人倍率が改善傾向を示しているが、総じてみれば厳しい状況が続いている。

消費者物価(除く生鮮食品)は、4か月連続して前年を上回った。

金融面をみると、預金残高が引き続き高い伸びとなっており、企業金融も総じて落ち着いた状況が続いている。

2. 実体経済

(1) 公共投資

7月の公共工事請負金額(工事場所ベース)は、県からの発注減少を主因に、前年をやや下回った。

▽ 公共工事請負金額(工事場所ベース) (前年比、%)

	2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 4月	5月	6月	7月
茨城県	▲10.0	▲1.6	2.5	24.5	▲22.9	0.7	▲4.1
全国	▲14.8	▲3.2	▲9.3	▲11.2	▲14.1	▲3.4	▲15.9

(2) 輸 出

好調な海外需要を背景に、一般機械(建設機械等)、鉄鋼、輸送用機械(自動車部品等)がほぼ震災前の水準まで回復している。電子部品・デバイス(半導体関連等)も持ち直している。

(3) 設備投資

2011年6月短観調査結果をみると、2011年度の設備投資は、海外需要の好調持続を見込む一般機械(建設機械等)や輸送用機械(自動車部品等)などを中心に、前年度を上回る計画となっている。

(4)個人消費

7月の大型小売店売上高(日本銀行水戸事務所調べ、11 か店ベース)は、衣料品等のクリアランスセールや中元ギフトの売り上げの伸びに支えられ、3か月連続して前年を上回った。

8月入り後も、秋物衣料品の出足が好調という声が聞かれるなど、堅調に推移した模様。

▽ 大型小売店売上高 (前年比、%)

		2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 4月	5月	6月	7月
茨城県	日本銀行水戸事務所調べ	3.9	▲11.9	▲0.5	▲9.2	5.3	2.4	5.6
	経済産業省調べ	0.0	▲4.8	1.0	▲0.4	1.8	1.7	p 4.6
全国	経済産業省調べ	▲0.5	▲2.6	▲1.6	▲1.9	▲2.5	▲0.5	p▲0.8

(注)「p」は速報値。

8月の乗用車新車登録台数は、エコカー補助金終了前の駆け込み需要がみられた前年を大きく下回った。

▽ 乗用車新車登録台数 (前年比、%)

	2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 5月	6月	7月	8月
茨城県	▲29.2	▲26.1	▲39.3	▲42.6	▲26.3	▲27.8	▲34.2
うち普通・小型	▲34.8	▲30.3	▲41.5	▲44.5	▲28.6	▲34.1	▲39.1
全国	▲27.2	▲25.6	▲33.6	▲33.3	▲21.9	▲25.6	▲26.0
うち普通・小型	▲31.4	▲28.6	▲36.5	▲38.0	▲23.9	▲30.0	▲29.5

このところの家電販売状況をみると、地上デジタル放送開始後は薄型テレビやDVD プレーヤー等の売り上げが大きく落ち込んでいるほか、天候要因からエアコンや冷蔵庫などの売り上げも減少しており、全体でも前年を下回っている模様。

また、観光については、海外旅行に回復の動きもみられたものの、県内海水浴場への入場者数が前年を大きく下回るなど、全体としては厳しい状況を余儀なくされている模様。

(5)住宅投資

7月の新設住宅着工戸数は、持家や貸家に住宅エコポイント適用期限(7月末)前の駆け込み着工がみられたことから、前年を大幅に上回った。

▽ 新設住宅着工戸数 (前年比、%)

	2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 4月	5月	6月	7月
茨城県	10.9	2.4	▲4.0	▲12.5	18.0	▲12.7	49.5
うち分譲	▲4.0	▲8.0	21.4	67.5	▲26.4	24.2	▲23.2
全国	6.9	3.2	4.1	0.3	6.4	5.8	21.2
うち分譲	40.2	21.9	24.0	12.4	42.9	21.6	33.2

(6)生産

輸送用機械(自動車部品等)が震災前の生産水準を上回ったほか、電気機械(家電製造)、一般機械(建設機械等)、鉄鋼、化学も同水準を回復し、ほぼフル生産となっている。電子部品・デバイス(半導体関連等)も、品目により差はあるものの、全体としては操業度を引き上げている。

▽ 鉱工業生産指数 (季節調整済指数の前月<期>比、()内は原指数の前年比、%)

	2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 4月	5月	6月	7月
茨城県	▲0.1 (7.8)	▲5.9 (▲8.3)	▲3.4 (▲7.1)	7.2 (▲30.4)	30.7 (0.3)	9.8 (10.7)	n.a. (n.a.)
全国	▲0.1 (5.9)	▲2.0 (▲2.5)	▲4.0 (▲6.8)	1.6 (▲13.6)	6.2 (▲5.5)	3.8 (▲1.7)	p 0.6 (p▲2.8)

(注)「p」は速報値。

(7)雇用・所得環境

有効求人倍率が2か月連続して改善したほか、新規求人数や所定外労働時間が前年比で大きく増加している業種もあるが、総じてみれば引き続き厳しい状況にあるとみられる。

▽ 有効求人倍率 (季節調整済、倍)

	2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 4月	5月	6月	7月
茨城県	0.54	0.60	0.61	0.61	0.61	0.62	0.65
全国	0.57	0.62	0.62	0.61	0.61	0.63	0.64

3. 物 価

6月の消費者物価(除く生鮮食品)は、石油関連製品価格の高止まり等から、4か月連続して前年を上回った。

▽ 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

	2010年 10～12月	2011年 1～3月	4～6月	2011年 4月	5月	6月	7月
茨城県	▲0.3	▲0.2	0.3	0.4	0.3	0.2	n.a
全 国	▲0.5	▲0.8	▲0.2	▲0.2	▲0.1	▲0.2	0.1

(注)全国の2011年1月以降は、2010年基準に変更。

4. 金 融

(1) 預金・貸出

7月末の県内金融機関の預金残高は、震災後の手許資金積み増しや地震保険金の入金などの影響から、14兆7,993億円、前年比+4.7%と高い伸びが続いている。

一方、貸出残高は、7兆4,061億円、同▲0.7%と17か月連続して前年を下回っている。

(2) 貸出約定平均金利

7月末の県内金融機関の貸出約定平均金利(ストックベース)は、2.189%と9か月連続して前月を下回った。

(3) 銀行券

8月中の銀行券の動きをみると、発行が548億円、還収が124億円で、423億円の発行超となった(前年は242億円の発行超)。

(4) 企業金融

製造業を中心に資金繰りが厳しいとする先はみられるが、復興支援のための各種融資・保証の利用もあり、総じて落ち着いた状況が続いている。

5. 企業倒産

8月の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数(17件)が前年を上回ったものの、負債総額(10億円)は前年比で4割以上減少した。

以 上